

第29回地本委員会開催

2020年2月20日(木)石川県立音楽堂交流ホールにて第29回地本委員会を開催した。福知山線列車事故からまもなく15年をむかえ、伯備線触車事故から14年、新幹線「重大インシデント」発生から2年が経ち、鉄道の安全性が高まる一方で重大労災・注意事象が相次ぎ発生している。この実態に強い危機感を持ち、「チェック・提言機能」に磨きをかけ、働く者の視点で「鉄道安全考動計画2022」の検証を行い安全性向上に向けて取り組んでいかなければならない。

今大会では、2020春闘の統括を行うとともに、安全確立の重要性を再確認した。当日はお忙しい中、来賓として、全国交運共済金沢事業部より前川所長、中央本部より松原副執行委員長、石田原情宣・福祉対策部長にお越し頂いた。



沓掛執行委員長

沓掛執行委員長挨拶

① 日頃の金沢地方本部の取組みへの参加、JR西労組運動に邁進して頂いている事、安全安定輸送への取組みに対する感謝について

昨今自然災害が多発し、特に台風19号では大きな被害を受けました。災害からの復旧に昼夜を問わずご尽力いただいたことに感謝と誠意を表します。金沢支社では年末年始を大きなトラブルなく乗り越えることが出来、ご利用状況も好調でした。この結果は皆様の努力によるものです。

② 安全の取組みについて

福知山線列車事故からまもなく15年が経ちます。労使の議論を通じ、JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022の作成に繋ぎ、実践と目標の達成に不断の努力を行っています。しかしながら死亡労災が3件発生し、金沢地本管内でも退避不良が発生しました。グループと協力し、対策、改善を行い、働く環境を整えていきたいと考えています。そのため、JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022検証アンケートを実施しています。今後もグループ労組と協力して安全確立を最優先に努めていきます。

③ 2020春闘について

賃金実態調査にご協力頂きありがとうございました。2月10日から春闘交渉がスタートしました。組合員への安定的な還元が働きがい向上や施策安全に繋がるとの考えのもと、ペア・労働環境整備に向けた戦いを継続していきます。また、各ニュースによる情報の見える化、LINEやダイレクトメールニュースによる情報配信に力を入れ、全員参加で盛り上げていきましょう。

④ 組織強化について

昨年シニア社員の脱退がありました。魅力と求心力のある組織作りを進めなければなりません。組合活動の原点は分会活動です。ベテランを含めた世話役活動やコミュニケーション強化をお願いします。

⑤ 賃金昇進制度等の改正

現行の制度が出来てから20年が経ちます。改正の際には、現場実態を調査し、労働組合から企画・提案することが重要となります。職場のあり方提言委員会を通じ、賃金昇進制度等の見直しに向けたプロジェクトチームを結成しました。現行の制度の見直しから始めるにあたり、各分会での意見集約をお願いします。

⑥ 不祥事について

不祥事が相次いでおります。本人だけではなく周りの人にも迷惑が掛かります。分会活動を通じ、世話役活動の強化をお願いします。

⑦ コロナウイルスについて

マスク不足が続いています。手洗いうがいで感染防止に努めてください。



大会議長【支社支部】
紺 直渡